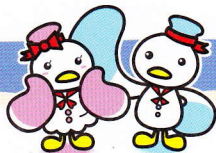


伝言板

No.19(H25.4)



NPO法人 北海道みなとの文化振興機構

もくじ

「第10回理事会・通常総会」開催	1
平成25年度事業計画について	2
北海道開発局防災エキスパート(港湾・空港・漁港) ...	4
平成24年度防災エキスパート意見交換会の開催	4

みなとまち活性化イベントの助成事業の 募集について	5
着ぐるみ(みなとのマスコット「ぼーとん」くん、 「べいくりん」ちゃん)貸し付け事業の紹介	7
平成25年度 役員・事務局体制	8

「第10回理事会・通常総会」開催

第10回理事会・通常総会は、平成25年2月21日(木)セントラル札幌北ビルで開催しました。理事会は定数9名の内5名、通常総会は正会員252名のうち85名の方が出席していただきました。

通常総会の開催に先立ち藤田会長より平成24年度事業の実施に当たって、「みなとサポート業務」・「全道各地で開催された船漕ぎ大会」を始め、防災エキスパート支援などの各事業にご協力いただいた会員の方々にお礼を申し上げ、出席会員皆様の一層のご支援、ご協力をお願いしました。

また、ご来賓いただいた北海道開発局港湾空港部真田港湾計画課長様から港湾を巡る最近の話題や当機構の「更なる活躍を期待します」と励ましの言葉をいただきました。

議案の審議内容は、以下のとおりですが異議なく承認されました。

●第1号議案(平成23年度事業報告)

- (1)みなとサポート業務 (2)ミニパネル展 (3)広報誌「伝言板」の発刊 (4)着ぐるみ貸し付け事業(有償) (5)記念グッズの配布(無償) (6)防災エキスパート支援 (7)みなと座談会 (8)ネットワーク強化 (9)助成活動



●第2号議案（平成24年度収支決算書）並びに収支決算内容の監査報告

収入額 4,047,183 円

支出額 3,673,499 円

繰越額 373,684 円

●第3号議案（平成25年度事業計画（案））

●第4号議案（平成25年収支予算計画書（案））

収入予算額 4,084,684 円

支出予算額 3,900,000 円

繰越予算額 184,684 円

●第5号議案（理事・監事の選任（案））

任期満了に伴う理事及び監事の選任では、理事の吉原吉蔵氏が退任となり、新任には妹尾英世氏、水野雄三氏が選任され理事1名が増員となりました。監事は、水島正夫氏が退任し中村弘之氏が選任されました。

通常総会終了後、中村理事長が特別報告として「みなと座談会の開催状況について」をパワーポイントを用いて報告致しました。



平成25年度 事業計画について

1 定款の事業名 港への理解と利用促進に係わる広報活動及び支援

(1) みなとサポート業務

北海道開発局各開発建設部管内で開催されるみなと見学会等の行事に、当 NPO 会員の「みなとサポーター」の支援を希望するところに派遣します。「みなとサポート業務」を希望する箇所について調査を行い、当 NPO 法人の自主事業として可能なところから実施します。

(2) ミニパネル展

当 NPO 主催の「ミニパネル展」は従来通り、「ザ・シンポジウムみなと」の開催会場で実施します。

また、当 NPO 独自の広報用パネルの制作を検討します。

(3) 広報誌「伝言板」の発刊、ホームページの充実

当 NPO 法人の活動状況や関連情報を会員に伝えるとともに、一般の方々にも港の役割と暮らしとの関わりを広く理解していただくための伝言板は、平成25年も年2回（4月・11月）の発刊を基本とします。

ホームページの更新を年3回以上実施し充実を図ります。

(4) 着ぐるみ（「ぼーとん」くん・「べいくりん」ちゃん）貸付事業（有償）

着ぐるみは、現在3組を所有しています。

今年度も着ぐるみの貸付事業（有料）を実施します。

また、着ぐるみは修理して使用できることから更新は、次年度以降とします。

(5) 記念グッズの配布（無償）

当 NPO 法人で作成した記念グッズ（ノート・ボールペン&マーカー・着ぐるみシール）は、着ぐるみ貸付箇所及びサポーター業務実施箇所、助成事業の活動箇所で要望がある箇所に前年度と同じ程度を配付します。

2 定款の事業名 港湾・空港・漁港の防災業務及び災害復旧に係る活動・支援

(1) 防災エキスパート支援

北海道開発局港湾空港部（事務局）と連携し、北海道開発局防災エキスパート（港湾・空港・漁港）の災害時の出勤に際し、より効果的な支援が可能となるよう伝達訓練、研修会を実施します。

3 定款の事業名 まちづくりの推進を図る活動等に関する情報収集

(1) みなと座談会

“みなとのまちおこし”“みなとの活性化”について考える「みなと座談会」は、北海道みなと街づくり女性ネットワークとの共催で、地域で「まち」の活性化に取り組んでいる方々の参加を要請し開催します。

(2) ネットワーク強化

- ① 道内で活動している「北海道みなとまちづくり女性ネットワーク」との連携強化に努めます。
- ② 「北海道みなとオアシス活性化協議会」等まちづくり団体との既ネットワーク構築強化に努めるとともに、更に多くの団体の活動内容をインターネット等介し情報を得るよう図っていきます。
- ③ 当 NPO 法人の現有支部（札幌・函館・苫小牧・釧路）以外の増設は当面行わず、現体制で対応していきます。又、支部会議を開催し、事務局・各支部間の意志の疎通を図っていきます。

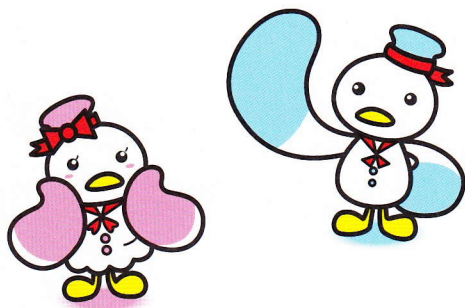
4 定款の事業名 その他、目的を達成するために必要な事業

(1) 助成活動

昨年同様「みなとまちの活性化」に寄与する事業の助成を実施します。募集は、各開発建設部の「みなとの相談窓口」等を通じて推薦を頂くと共に、多数の応募が可能となるよう当 NPO 法人のホームページで募集要領を公表します。

(2) 記念事業

NPO 法人設立 10 周年記念事業とし当法人活動の啓蒙を図る広報・啓発活動を行います。



北海道開発局防災エキスパート (港湾・空港・漁港)

平成 18 年 4 月に発足した防災エキスパート制度は、港湾・空港・漁港等の施設の整備・管理等についての専門知識を持ったボランティアの活動をより円滑ならしめ、迅速かつ的確な災害対策の推進に寄与し、持って災害地域の早期復旧を図ることを目的とする。

当 NPO 法人では、北海道開発局長と平成 18 年 10 月 2 日に「大規模災害発生時における防災エキスパートの円滑な活動を支援する」協定を締結しました。

内容は、①北海道開発局が所掌する港湾・空港・漁港施設等の被災及び、利用状況の情報収集に関する業務の支援。②関係機関への情報連絡及び情報の記録、整理に関する業務の支援。③災害復旧に必要な業務の支援。

■平成 24 年度防災エキスパート意見交換会の開催

北海道開発局港湾空港部及び NPO 法人北海道みよとの文化振興機構主催の意見交換会を平成 25 年 3 月 8 日(金)北海道開発局庁舎 10 階会議室において 15 時 15 分から開催しました。

意見交換会は港湾空港部港湾建設課の事務局、各開発建設部の港湾事務所長、防災エキスパート登録者の 26 名と NPO 法人みよとの文化振興機構事務局 1 名が参加しました。

開催に先立ち、北海道開発局港湾空港部長の栗田 悟様から主催者挨拶を受け、事務局から、防災エキスパート制度要綱、参集及び通報要領の一部改定、全国における防災エキスパートの活動内容、今年度作成した防災エキスパートカルテ（防災エキスパー

トの災害対応履歴）の活用方法についての説明がありました。

交換会は港湾事務所と防災エキスパートが円滑な活動支援を可能にするため、相互関係を確認することが目的で、最近の港湾・漁港の話題について、11 港の重要港湾以上の所長から紹介があり、防災エキスパートの質疑形式で進められました。

最後に港湾建設課長梅沢信敏様の閉会挨拶があり、地域特性を考慮して、南地区（函館・室蘭）、東地区（釧路・帯広・網走）、北地区（札幌・小樽・留萌・稚内）での意見交換会開催について今後検討したいとの話で、2 時間の意見交換会は終了しました。



みなとまち活性化イベントの助成事業の募集について

NPO 法人「北海道みなとの文化振興機構」では、当機構の目的の一つである「港の効果的、効率的利用の促進や港を核としたまちづくりに係る広報事業を支援する」を図るため助成事業の募集を行います。平成 25 年度の助成事業応募要領は下記のとおりです。

■助成事業募集要領

(1) 応募要件

道内でみなとまちの活性化をめざし企画・実施されるイベント等において、平成 25 年度に実施予定の本助成を希望する事業とする。

(2) 募集期間および応募方法

募集期間は平成 25 年 4 月 1 日(月)から 5 月 10 日(金)までとし、助成を希望する団体は必要事項を記入の上、別途応募様式を提出する。

(3) 助成金額

1 件当たり助成金額は 15 万円を限度とし、みなとの活性化の効果の大きいと考えられる数件を選定する。

(4) 評価審査委員会の設置

応募された助成希望の事業について、審査を行う機関として設置する。

評価審査委員会は当 NPO 法人理事長の指名により構成する。

評価審査委員会の事務は当 NPO 法人事務局が行う。

評価審査委員会は平成 25 年 5 月中旬に開催し、助成を希望する事業について審査し、採択する。

審査結果については、5 月下旬に郵送で通知する。また、当 NPO 法人のホームページ上で公表する。

(5) 助成金の支払い

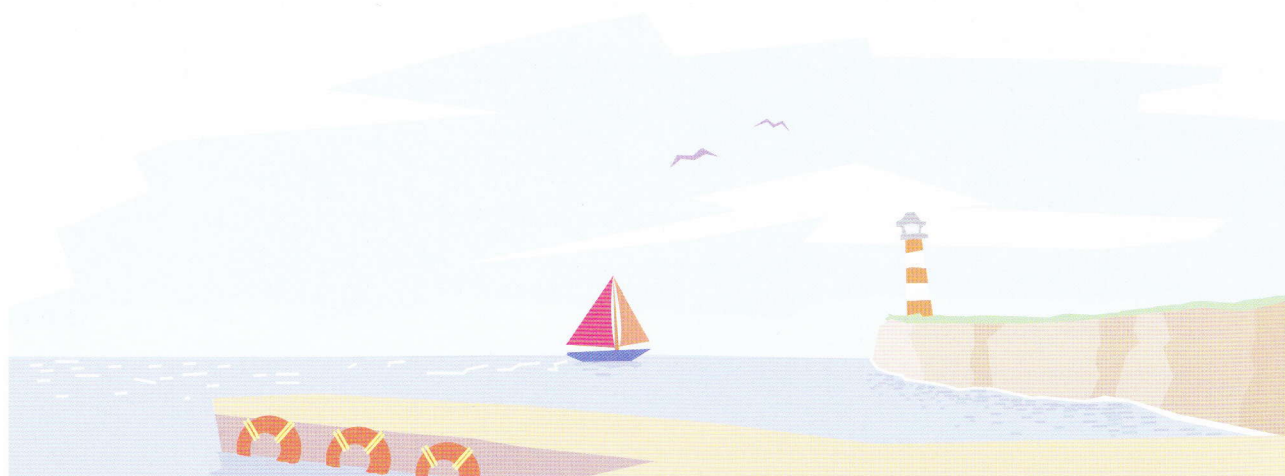
助成金については、助成を受ける団体等に対し、イベント等の開催の 2 週間前までに支払う。

(6) 助成を受ける団体の義務

活動を実施するにあたって、「NPO 北海道みなとの文化振興機構助成」をうけている旨を明示すること。

(7) 報告

実施結果については、実施後速やかに別途報告様式により提出する。



応募様式

年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名

代表者名

平成25年度NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成事業に応募します。

1 事業名	
2 事業の目的	
3 事業の内容と課題等	
4 共催団体および支援団体	
5 開催場所	
6 開催日時	
7 総予算額（見込み）、本助成金の要望金額および内容	
8 スタッフ人数	
9 参加者見込み人数	
10 過去の開催実績	

報告様式

年 月 日

NPO 法人北海道みなとの文化振興機構 御中

団体名

代表者名

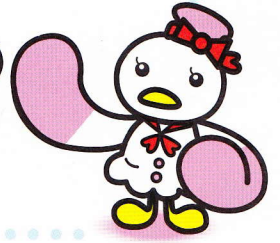
平成25年度NPO法人北海道みなとの文化振興機構助成事業により、下記のとおり事業を実施しましたので報告します。

1 事業名	
2 事業の内容	
3 共催団体および支援団体等	
4 開催場所	
5 開催日時	
6 スタッフ人数	
7 参加者人数	
8 総支出額、本助成金の使用内容	

※実施状況のわかる写真を添付



着ぐるみ（みなとのマスコット 「ぽーとん」くん、「べいくりん」ちゃん） 貸し付け事業の紹介



北海道のみなとのキャラクター「ぽーとん」くんと「べいくりん」ちゃんの着ぐるみは、全道のみなとまちでのイベント等に使用していただきたく、当 NPO 法人が平成 11 年に 1 号を製作し、平成 12 年度より貸し付け事業を開始しました。その後、着ぐるみの利用状況が好評なことから、順次 2 号を平成 13 年に、3 号を平成 17 年に製作し、現在 3 体を所有しております。

「小さな赤ちゃんカモメ」をイメージにしたとてもかわいい着ぐるみの男の子と女の子です。

空色の洋服を着た僕は男の子で「ぽーとん」といいます。ピンクの洋服を着たわたしは女の子で「べいくりん」といいます。

「ぽーとん」・「べいくりん」の図案は NPO 法人北海道みなとの文化振興機構が商標登録しております。

当初は着ぐるみを無料で貸し付け事業を実施しておりましたが、製作して年数が経過していることから破損や色あせに修理費がかかること、また、順次更新することとし、平成 19 年度より有料化にさせていただいております。

平成 24 年度の貸し付け状況は、下記のとおり 9 件のイベント等で利用があり、イベントに参加した子供たちは着ぐるみキャラクターと写真撮影するなど大変好評でした。

①石狩湾新港みなと見学会 ②岩内港みなと見学会 ③苫小牧港みなとパネル展 ④マリンフェスタ in 小樽 ⑤白老港まつり ⑥釧路港海の日パネル展 ⑦苫小牧港フェスティバル ⑧稚内港 2012 WAKKANAI みなとコンサート ⑨FM わっぴー新春企画「みんなで大新年会」

なお、当 NPO 法人では、平成 25 年度も貸し付け事業を実施いたしますので、ご希望の方はご連絡ください。また、夏の期間はイベントが集中しておりますのでご希望にそえない場合もありますのでご了承ください。





■平成 25 年度 役員・事務局体制

平成 25 年度「特定非営利活動法人北海道みなとの文化振興機構」役員及び事務局員をお知らせします。
 活力あるみなとまちづくりを会員の皆様方と進めてまいります。
 よろしくお願ひ致します。

役 員

役職名	氏 名
会 長	藤田 博章
理事長	中村 信之
理 事	岩倉 博文
理 事	宮崎 英樹
理 事	高橋 喜一
理 事	水野 雄三
理 事	小泉 信男
理 事	古屋 温美
理 事	大西 育子
理 事	妹尾 英世
監 事	上原 泰正
監 事	中村 弘之

事務局

役職名	氏 名	役職名	氏 名
事 務 局 長	妹尾 英世	函 館支部長	高森 孝紀
事務局次長	谷内 清治	〃 支部次長	阿部 俊六
事務局次長	毛利 照男	苫小牧支部長	小山 良明
事務局次長	東 志郎	釧 路支部長	平山 裕義
事務局次長	市来 隆	札 樽支部長	山本 博
事務局次長	渡部 優	〃 支部次長	廣田 正俊
事務局次長	渡辺 修司		

お願い

当機構事務局へのご連絡は、下記のいずれかをお願いします。

Tel：011-727-3710 Fax：011-727-3710 E-mail：bunka-npo@kanchi.or.jp

なお、事務局は、常駐体制でないことから、ご返事を差し上げるまで一週間程お時間をいただくこともございますので、何卒ご了承をお願いします。

また、当機構の活動状況は、ホームページでご覧になることができます。

<http://www.minatobunka-npo.info/>

特定非営利活動法人
 北海道みなとの文化振興機構